

研究タイトル:

インフラマネジメント及びインフラメンテナンス技術者育成



| | | | |
|----------|--------------------------|---------|-------------------------|
| 氏名: | 玉田 和也 ／ TAMADA Kazuya | E-mail: | tamada@maizuru-ct.ac.jp |
| 職名: | 教授 | 学位: | 博士(工学) |
| 所属学会・協会: | 日本鋼構造協会 , 土木学会 | | |

| | |
|--------|---|
| キーワード: | 橋梁工学, 維持管理, メンテナンス, 鋼構造物, 鋼橋, 構造力学, 構造物長寿命化, 長寿命化, 工学教育 |
|--------|---|

| | |
|-----------------|---|
| 技術相談 提供可能技術: | <ul style="list-style-type: none"> ・インフラメンテナンス技術者育成及びカリキュラム開発 ・インフラマネジメント(橋梁長寿命化修繕計画等)に関する事項 ・既設橋梁の健全度評価(ブリッジマネジメントシステム) |
|-----------------|---|

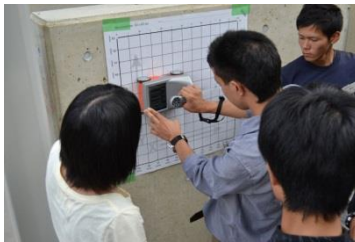
研究内容: 振動特性による橋の健全度診断

◆ 社会基盤メンテナンス教育センター(iMec)

現場に密着した教育センターとして、メンテナンス技術に特化した実践力ある人材を育成することをモットーとしています。当センターが実施する講習会では、全国の建設系の高専生、地方自治体職員、民間土木技術者等を幅広く受け入れ、座学だけでなく、損傷調査・非破壊検査の実習や、劣化橋梁部材の実物を用いた体験型学習を組み合わせた実践的な教育を実施しています。また、メンテナンス工学に関する調査・研究、地方公共団体等への技術支援、産学官連携のコーディネート等にも取り組み、予防保全の中核的施設として地域社会に貢献することを目指しています。

◆ 玉田研究室

維持管理に関する橋梁の損傷に対する客観性に優れた点検・診断方法の確立のため、振動計測による健全度評価等に取り組んでいます。



大和橋(舞鶴市管理)



松島橋(京都府管理)

iMec講習会(橋梁点検)の実施風景

振動計測実施橋梁例

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)

| | |
|--|----------------------------|
| ストラクチャスキャン・SIR-EZ(KEYTEC) | コンクリートテスター・CTS-02V4(NITTO) |
| 赤外線サーモグラフィ・FLIR T660(フリアーシステムズ社) | ビジュアル放射温度計・VT04A(FLUKE) |
| クラックアイ CrackEYE ひび割れ幅測(三共エンジニアリング) | |
| 超音波探傷器・USM36(GE センシング&インスペクション・テクノロジー) | |
| ポータブル渦流探傷器・Mentor EM(同上) | |